

- 模擬国連の基本ルール -

模擬国連会議においては、参加者が各国を代表する**大使 (Delegate)** に扮し、議論のテーマとなる**議題 (Agenda Item)** について議論・交渉を行います。大使たちは、**各国の主張**をまとめ全世界に発表するための**決議案 (DR)**を協力して作成し、採択することを目指します。決議案は、1つまたは複数のグループを形成した大使たちにより、各グループにつき1つ作成されます。各国大使は、決議案の内容が**自国の利益や国際社会の利益**に最大限つながるものとするために、交渉を行います。決議案は、会議の最後に大使全員による投票にかけられ、採択または不採択となります。

会議の流れ 会議の大まかな流れです。公式討議と非公式討議が繰り返され、少しずつ意見がまとまっていきます。

基本は議長が進行

公式：スピーチしたい大使は会議の最初に立候補し、作成されたリストの順にスピーチ

非公式：大使が**動議**として提案し投票等により認められたら実施

グループは非公式討議中に形成

基本は議長が進行

出欠を取る

公式討議と非公式討議
を通して各国の意見を理解する

公式討議と非公式討議
を通して議論・交渉する

グループの意見をまとめ、**決議案 (DR)**を書く

決議案を決議として採択するか**の投票**にかける

事前準備 会議参加前には、事前に議題が発表され担当国が割り当てられます。それらについて、会議の前に本やインターネット等を用いてリサーチをします。そして、会議で提案し決議案に盛り込みたい政策を立案します。

一緒に**決議案 (DR)**を書くグループを形成する

必要な場合には、グループ同士で**統合 (Combine)**

レビュー 会議終了後には、会議の様子や自身の行動等を振り返り、学びとします。

決議案 (DR)

会議の成果文書である「決議」の草稿です。決議はその後の国連の指針として全世界に公表されます。その文言には、特定の政策を推進したり問題とみなされる特定の機関や地域を非難するなどの内容が含まれるため、大使は国際益を保ちつつも国益に寄与する文言を作成し、国益に反する文言を削除するために交渉を行います。会議における大使の全ての行動は、自国の政策に基づいた決議を採択するために行われます。

公式討議

各国大使が自国の政策、公式見解や意見をフォーマルスピーチによって順番に表明します。立場の似通った国や対立する国などあらゆる大使に対して一度にメッセージを伝えることができます。具体的には、似た立場を持つ国々にグループ形成を呼びかけたり、特定の政策を非難したり、議題に関する自国の状況を表示することなどを行います。会議によっては英語で行われることも多くあります。

非公式討議

着席討議(モデレートコーカス)と**非着席討議(アンモデレートコーカス)**の2種類が存在します。着席討議では議長の議事進行の下、動議で指定された目的に沿って各国大使が発言をします。非着席討議では、一定時間各大使が席を立ち自由に交渉を行い、立場の似通った国とグループを形成し決議案を作成します。多くの大使と意見を交換し、議論の対立軸を把握することが重要です。

投票

提出された全ての決議案の内容に関して、全大使が順番に賛成/反対/棄権を投票し、必要賛成数を得た決議案は正式な決議として採択されます。自分以外が提出した決議案については国益に反しないかを吟味し、自分が作成に関わった決議案については賛成してもらえようとして他国への投票交渉を行います。

この資料は、**模擬国連について初めて学ぶ高校生を対象に、会議の進行を端的に伝えることを目的に作成されたものです。**

詳細なルール等については、「**模擬国連マニュアル**」をご参照ください。

<http://jcgcc.accu.or.jp/manual.pdf>

学校などでの模擬国連活動の導入を検討している先生方は「**模擬国連会議入門【学校関係者用】**」をご活用ください。

<http://jcgcc.accu.or.jp/howtobeginforteachers.pdf>

初めての会議に向け、心構えを簡単に知りたい方は「**How to Start Model UN**」をご確認ください。

<http://jcgcc.accu.or.jp/howtobeginforstudents.pdf>